

■2018-19年度 ガバナー公式訪問

国際ロータリー第2580地区 松坂 順一 (まつさか じゅんいち)ガバナー (東京葛飾東)



<ご略歴>

生年月日：1951（昭和26）年4月2日生
 本籍地：青森県八戸市
 学歴：東北大学薬学部卒業
 勤務先：有限会社 クオリティィ 代表取締役
 職業分類：薬局経営〔薬剤師〕

ロータリー歴： 1994年10月 東京葛飾東ロータリークラブ入会

- 1999-2000年度 クラブ幹事
- 2000-2004年度 地区米山奨学委員会 委員
- 2002-2003年度 地区米山奨学委員会 委員長
- 2006-2007年度 クラブ会長
- 2008-2009年度 地区青少年育成委員会 委員
- 2009-2011年度 地区青少年育成委員会 副委員長
- 2011-2012年度 地区社会人育成委員会 委員
- 2012-2013年度 地区米山奨学委員会 委員
- 2013-2014年度 東分区ガバナー補佐
- 2014-2015年度 地区拡大増強委員会 委員
- 2015-2016年度 地区ロータリー希望の風特別委員会 委員長
- 2014年7月～ ロータリー東日本大震災青少年支援連絡協議会 副委員長

ロータリー財団メジャードナー・ベネファクター・米山功労者・マルチプル

家族 子供2人 2018. 3. 16

☆最もよく奉仕する者、最も多く報いられる (He Profits Most Who Serves Best)

アーサー・フレデリック・シェルドン は、ビジネスはすべて社会に尽くす手段でなければならぬと信じ、1910年シカゴでの最初の大会で“**He Profits Most Who Serves His Fellows Best**” (最もよく仲間に奉仕する者は、最も多く報いられる) と主張。翌年ポートランドで開催された第2回ロータリー大会でミネアポリスのフランク・コリンズもまた、他人のために尽くす意義と重要性を説き、ロータリークラブは“**Service, Not self**” (無私の奉仕) を根本精神として結成されなければならないと強調した。

この2つの言葉が後年“**He Profits Most Who Serves Best**”(最もよく奉仕する者、最も多く報いられる) および“**Service Above Self**”(超我の奉仕) と、それぞれ修正され、この2つが正式にロータリーのモットーとして1950年に採用された。

その後、1989年の規定審議会で“**Service Above Self**” がロータリーの第1標語となった。

週報

インスピレーションに
 なるよう

Be the inspiration

バリー・ラシン

2018-19年度 国際ロータリー会長



第2704号

平成30年
 11月20日
 2018年
 NOV

Rotary
 那覇ロータリークラブ

第2828回 例会報告

例会記録・予定

出席報告

会 員 数	81名
出 席 計 算 会 員	81名
出 席	29名
欠 席	52名
出 席 率	35.80%
訂 正 出 席 率	60.49%

欠席会員名 親泊、新本、森、新垣(典)、安里(政)、上原、中村、碓井、東川平(靖)、亀川(偉)、吉村、新垣(豊)、与儀、平良(修)、金城、三反園、長嶺(善)、保田盛、喜屋武、許田、津嘉山、國吉、伊志嶺、具志堅、今福、渡辺、下石、新垣(安)、朱、宜保、吉岡、井手上、白石、北田、上原(進)、与那覇、上原(修)、真栄城、新垣(竜)、安里(繁)、長嶺(国)、東川平(信)、前原、川井田、米須、赤嶺、桑野、下地、川畑、佐久本、相良、義元。
MAKE-UP 新本<多摩分区 IM/次年度五大奉仕委員長会議/G 補佐エレクト研修/R 財団地域セミナー/GETS/ロータリー研究会>新垣(典)<次年度五大奉仕委員長会議/G 補佐エレクト研修>安里(政)<地区拡大増強委員会/R 財団地域セミナー>

ビジター 名城 知二郎 氏 (那覇北)

☆プログラム

11月27日(火)

国際ロータリー第2580地区
 「松坂 順一 ガバナー公式訪問」

12月4日(火)「M&Aを活用した成長戦略」

(株)日本M&Aセンター
 沖縄営業所長 羽田 昌年 氏

12月11日(火)「未定」

(株)上間フードアンドライブ
 代表取締役社長 上間 喜壽 氏

☆四つのテスト☆

言行はこれに照らしてから

- 1) 真実かどうか
- 2) みんなに公平か
- 3) 好意と友情を深めるか
- 4) みんなのためになるかどうか

那 覇 ロ ー タ リ ー ク ラ ブ

事務局 那覇市西3-6-1 (パンフィックホテル沖縄1階) TEL 868-1224 FAX 861-4918
E-mail アドレス naha-rc@m1.cosmos.ne.jp **HP アドレス** : <http://naha-rc.org/>
 会長 山城 博美 副会長/クラブ奉仕委員長/会長エレクト 上原義信 副会長/クラブカウンセラー 亀川 榮一
 幹事 松島 寛和 クラブ会報委員長 松元 剛 副委員長 井手上 功 委員 今福 吉和

■ニコニコBOX(*^^)

山城 博美 会長

FC 琉球の J3 優勝は、今年度沖縄スポーツ会最大の快挙です。J2 でも頑張るよう皆で応援しましょう。ニコニコ。

鈴木 康友 会員

11/11 にて 67 才になりました。誕生日のプレゼントありがとうございます。ニコニコ。

■幹事報告

松島 寛和 幹事

* 地区青少年奉仕委員会より「青少年奉仕情報」、ロータリー米山記念奨学会より「ハイライトよねやま」が届きました。回覧致します。

* 本日例会後 60 周年実行委員会の打ち合わせを行います。よろしくお願い致します。

* 地区大会の申込締切日は 12/14 (金) です。お申込みはお早目にクラブ事務局まで。

開催日：2019 年 2 月 20 日 (水)・2 月 21 日 (木)

会場：ホテルニューオータニ (鶴の間) 他

登録料：会員 ¥12,000 ご家族 ¥6,000

RI 会長代理ご夫妻歓迎晩餐会 ¥15,000

新会員交流会 (昼食付) ¥5,000

〒102-8578 東京都千代田区紀尾井町 4-1

tel:03-3265-1111 (代表)

<https://www.rid2580.org/meeting/>

■テレビ会議のお知らせ <東京>ガバナー事務所 ⇄ <沖縄>那覇 RC 事務局

⇄ <沖縄>那覇 RC 事務局

* 地区米山奨学委員会

11/28 (水) 15:00~17:00

* R 財団グローバル補助金申請面接 (宜野湾 RC)

11/30 (金) 15:00~17:00 (時間調整中)

■ポール・ハリス語録「過ぎし時に敬意を表して」

国の進歩を測る物差しは、個人の成長を測る物差しと同じように、他の人の経験から学ぼうとする心がけにあります。<Paul P. Harris スコットランド、エジンバラ、1921 年 RI 国際大会でのメッセージ>

■特別会計 2018~2019 年度 ニコニコ BOX

本日のニコニコ BOX ¥4,000
ニコニコ BOX 累計 ¥216,000

■会長報告

山城 博美 会長

* 来週はガバナー公式訪問です。松坂ガバナーからは、慣例的なクラブ協議会ではなく意見交換するようなクラブ協議会をとの要望がございます。

松坂ガバナーから事前に頂きました内容は、

①「貴クラブの力を入れている奉仕事業について」 ②「拡大増強の報告」③「貴クラブの将来像とそれを考える組織について」です。よろしくご出席下さい。

■ガバナー公式訪問

(Governor's Official Visit)

ガバナーの公式訪問は、ガバナー自身が地区内の各 RC を以下のような目的をもって訪問するものと定義されている。

重要なロータリーの問題に主眼を置き関心をもたせる； 弱体あるいは問題のあるクラブに特別な関心を払う； ロータリアンに意欲を起こさせ奉仕活動に参加させる；

また地区内におけるロータリアン個人の卓越した業績を表彰する。加盟認証状伝達式、入会式、新会員のオリエンテーション・プログラム、表彰式、特別プログラム、ロータリー財団行事あるいは都市連合会など、ガバナー出席の効果が最も上がるような時に行うものとする。

☆ロータリーの基本知識「会員の責務」

クラブは、ロータリーの礎であり、有意義な多くの活動が実施されます。成果を挙げるクラブは、すべて、次の四つの特徴をもっています。

- ① 会員数を維持、増加させる努力をしていること。
- ② 自らの地域社会と他国の地域社会に恩恵を与える奉仕プロジェクトに、よく参加していること。
- ③ 資金拠出やプログラムへの参加を通じ、ロータリー財団を支援していること。
- ④ クラブレベルを超えてロータリーの為に奉仕できる指導者を育成していること。

*ロータリアンがロータリーから何を求めるかは、ロータリーのために何をしたいか？にかかっています。会員としての義務規定の多くは、ロータリーでの経験を十分に享受することを目的に設定されています。

■第 14 回例会 卓話 (11/13) 「RYLA について」

国際ロータリー第 2580 地区 小林 充 地区 RYLA 副委員長 (那覇西)



「RYLA へのご理解ご協力をよろしくお願い致します」と小林地区 RYLA 副委員長

地域若者の能力を伸ばすこと目指す

RYLA とは、国際ロータリーが推奨する青少年奉仕活動の一つだ。インターアクト、ローターアクト、青少年委員会、RYLA の 4 つがある。2580 地区は、職場就業体験委員会もあるので、計 5 つの包括委員会の形だ。RYLA とは、「Rotary Youth Leadership Award」の頭文字を取るロータリー青少年指導者養成プログラムのことだ。

14 歳~30 歳の若者がプログラム受講を通じ、リーダーシップスキルと人格を養いながら、奉仕の心と高い道德規準、平和といったロータリーの価値観を学ぶ機会を提供している。地域の若者の能力や資質を伸ばすことを目指すプログラムだ。始まりは、1959 年。オーストラリアのブリスベン RC の催事に出席したアレクサンドリア王女を歓迎する会に招いた若い青年たちの資質の良さに感激したロータリアンたちは、文化、社会などの教育プログラムを毎年実施することにした。71 年に国際ロータリーに正式に採用され、米、英、スウェーデン、台湾、韓国などでも盛んだ。日本ではどうか。第 366 地区 (大阪、和歌山) で青少年の指導者要請の重要性に鑑み、76 年に、初の RYLA が実施され、その後、2580 地区を含め、29 地区で実施されるようになった。(※ 2670 地区と 2680 地区の 4 日間のセミナーのダイジェスト映像を放映)。プログラムは答えを導き出す討論が中心だ。本年度の松坂順一ガバナーは、2580 地区に RYLA を採用し、青少年奉仕活動の拡大を図り、クラブ活性化を目指している。松坂ガバナーの方針「研修

と活性化」の下で実施されることになった。本年度のテーマを「心にふれ合う」。4 つの狙いがある。①新しい友人を発見して、他者の心にふれ合う②自分を見つめ直し、自身の心にふれ合う③ロータリーの心にふれ合い、奉仕の心を養い、平和について考える機会とする④受講者の心にふれ合い、ロータリアン自らの教育の場となる。ぜひロータリアンの方にも参加してほしい。若い人たちとふれ合っていただくことが、ロータリーの活性化につながるのではないかと。善い行いも、悪い行いも全て心が決める。心が全ての根幹にあると考えている。セミナー参加者は、携帯電話、ネット、テレビが見られない。静かに自らを磨く環境にしている。

来年 3 月のセミナーに参加、協力を

2580 地区の RYLA セミナーの開催日時は 19 年 3 月 1 日~3 日。会場は玉城青少年の家。在京 21 人、沖縄から 6 人の計 27 人が受講する。多くのロータリアンをお誘いいただき、セミナーに参加いただきたい。3 日通して参加料は 5 千円。夕食は別途。初め開催なので、参加してもらい、率直な意見を聞かせて欲しい。クラブの方の応援はなによりも励みになる。少ない予算で運営しており、在京の参加費 3 万円は飛行機代しか賄えない。参加はできないが協力してもいいよという方は協力金として一人 2 千円の協力をお願いしたい。受講生は、ライタリアンとなり、推薦ロータリークラブのファミリーとして活動する。いろいろな奉仕活動にも参加できる。ローターアクトへの加入も可能となる。青少年は私たちの宝、希望であり、未来だ。次世代を担う青少年を探し出し応援し期待を込めて指導し、勇気を与えたいと願っている。

文責：クラブ会報委員長 松元 剛